

[総 評]

令和2年度杉並区 NPO 等活動推進協議会助成審査部会

今年度は新型コロナウイルス感染症への対応で始まりました。そのため、NPO 活動資金助成事業への申請にも影響があるのではないかと懸念されましたが、スタートアップ事業には新規の申請が3団体、ステップアップ事業には新規の申請が3団体と二回目の申請が3団体の計6団体、両事業合わせて9団体の申請がありました。リスクの高い環境においても、昨年とほぼ同じ実績となり、当該 NPO の活動に対する真摯かつ前向きな取り組み姿勢を感じました。

審査は従来通り二段階方式で行いました。まず、一次審査は前年と同じく申請書類による書面審査です。具体的には、提出された事業計画書及び予算書において疑義のある点の確認と、ニーズの把握、効果、実行可能性等といった審査基準に基づく評価です。二次審査については、大幅な変更を余儀なくされました。従来であれば、一次審査を通過した団体は審査会場において公開プレゼンテーションを行い、そのあと委員との質疑という形で審査が行われましたが、今回は罹患リスクを回避するために各申請団体にプレゼンテーション録画映像（DVD）を作成してもらい、それを元に委員が個別に二次審査をすることとなりました。録画映像によるプレゼンテーションと委員側から一次審査の際に提出された質問に対する回答を元に、事業の適切性や問題解決可能性、実行可能性及び予算の妥当性等を総合評価しました。

審査の結果、5団体が選ばれました。スタートアップ事業では、子育てと介護というようなダブルケアと仕事の両立を図るためのツール開発を目指した事業と、中学生のスポーツ・文化活動の公平な機会の提供の一環としてバレーボール部に対するプロ指導者による指導・支援の2事業が選定されました。ステップアップ事業では、杉並区に伝わる昔話を紙芝居に仕立て口演する人材育成事業、1歳未満の赤ちゃんを抱える保護者と妊娠中の方の情報交換・触れ合い・交流のための広場提供事業、医療的ケアや重い障害のために在宅医療を受ける子供への学習機会と質を補うための学習支援事業の3つが選ばれました。いずれも地域性や組織特性を生かした事業であり、事業の広がりや効果が期待されます。

今回は、申請団体の皆様には、新たに録画映像の作成と質問に対する回答文の作成という2つの作業をお願いすることとなりました。本来であれば、公開プレゼンテーションができればどちらもその際に済ませられることでしたが、急遽のお願いにもかかわらず、しかも短い時間の中で誠実に対応していただいたことに感謝する次第です。今回、残念ながら助成を受けることができなかった団体の皆様には再度の申請を期待しております。また、助成を受けることとなった団体の皆様には、着実な計画の遂行を期待しております。

ともあれ、いまだにコロナ禍が続く中、団体の活動を維持することは大変な労力ときめ細かな配慮が不可欠かと思いますが、団体の持つ創意工夫で活動が継続されることを祈念いたします。